

シリーズ

浅間山中腹に育つ優良なアカマツ林

浅間山霧上の松希少個体群保護林

さしうえ

設定目的

当該保護林内のアカマツは、浅間山中腹部のよく雲のたなびく位置に生育しており、通称「霧上の松」と呼ばれています。この地域のアカマツは形質が良く、優良な種子等の採取に適する森林として「特別母樹林」にも指定されており、優良なアカマツ天然林個体群を保護・管理しています。

地況・林況

浅間山(二、四九三㍎)の南麓、標高約千㍎の南西向きの緩斜面に位置しています。林齢約一〇年から一九〇年の天然林であり、一七八三年(天明三年)の浅間山噴火以降に成立したアカマツを主体とし、一部にミズキ、クリなど広葉樹が混交しています。

所在地
長野県北佐久郡御代田町



国有林野には、世界自然遺産を始めとする原生的な森林生態系を有する森林や、希少な野生生物の生育・生息の場となっている森林が多く残されています。

国有林野事業では、1915年(大正4年)以降、こうした貴重な森林を「保護林」として設定し、森林や野生生物等の状況変化に関する定期的なモニタリング調査を実施して、森林の厳格な保護・管理を行っています。



※詳細は、コードを読み込んでください。

お問い合わせ先：計画保全部計画課 ダイアルイン：026-236-2612